

10809化学肥料製造業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	7~8	工場で反応釜に所定量の原料を仕込み、溶解のため蒸気にて昇温していた。少し時間が経過し、昇温していることに気づき、蒸気バルブを閉めようとしたが間に合わず、釜口から液が沸騰し吹き出っていたので、蒸気ボイラー室へ行って元バルブを閉め、工場に戻って反応釜を冷却しようとしたところ、足元が滑り転倒し、両手足と顔面を火傷した。	35	2	417	30 ～ 49
2	2017	12	9~10	工場において年末の大掃除中に、事務用の椅子にのって棚の上を掃除しようとしたところ、椅子から落下し、右足大腿骨を骨折した。	61	1	371	30 ～ 49
3	2017	11	11~12	肥料容器梱包用ダンボール箱の製函作業に従事していた。包装机へダンボール箱の供給後、製函機トラブル（停止センサー誤作動）でダンボール箱がレールから脱線落下した為、製函機へ駆け寄った時、床面が濡れていて足が滑りバランスを崩し右前腕部を痛打し打撲を負った。	33	2	417	50 ～ 99
4	2017	9	11~12	肥料用工場でスクリーコンベアーの作業中、コンベアーの下に石灰が溜まっていた為、コンベアーの下の部分を掃除していた際に、左指（人差し指中指）がチェーンに挟まれ左指を切った。	60	7	224	10 ～ 29
5	2017	7	10~11	当社工場内において、肥料配合機で作業中、異物（袋）が混入してしまい、それを除去するにあたって、機械の停止ボタンを	53	7	162	10 ～

				押さずに、機械作動のまま取り出そうとして、スクリューに右手の指が巻き込まれ負傷した。				29
6	2017	7	10~11	第8工場で300L金属性濾過器台座を斜めに立てかけた状態で、部品表面のウエスふき取りによる洗浄作業を行っていたところ、部品が後ろにずれて倒れてしまい、支えようとした左手が台座の下敷きになり受傷。	52	4	521	50 ~ 99
7	2017	5	14~15	第5工場2F後段脱水機の3布を調整しようと、脚立に登ったところ、バランスを崩し右手から落下した。	27	1	371	30 ~ 49
8	2017	5	14~15	ふるい室内を2名で清掃中、ロールクラッシャー下のベルトコンベアは運転中であったが、被災技能職は回転中のままメタルを手で除去しようとし、ベルトコンベア本体とベルトの間に左腕を巻き込まれた。もう1名の技能職が異変に気づき、ベルトコンベアの電源を切ったが、左腕を挟まれていた。	53	7	224	10 ~ 29
9	2017	4	16~17	生産現場にて翌日使用するダンボール板の束（80cm×20cm×20cm）を使用場所に積みあげている時、持っている手のバランスを崩し、そのダンボールを落とさないように上体を捻って手で支えようとした時に右肩を脱臼した。	50	19	611	30 ~ 49
10	2017	4	11~12	ガスボンベを洗浄して出荷する業務中、操作盤から落下した部品が下部ドレーン付近に落下したため拾おうとし、ドレーンのレバーに当たって押し上げてしまったため蒸気が噴出して右手甲にかかり、熱傷を負った。	50	11	713	50 ~ 99
11	2017	3	23~24	製造プラントの通路でプラントの上階から一階へ降りポンプスイッチを操作しようと通路を走行中、通路（アスファルト）の水で濡れた部分で足を滑らせ転倒し、右足指を骨折した（ヘルメット、保護メガネ、安全靴着用）。	47	2	417	30 ~ 49
				就業前に説明を受けていたところ、すでにベルトコンベアが稼働して説明に耳と体と頭がそちらに集中していたため、コンベ				100

19	2016	10	16～ 17	工場内にてテントを加工する作業中、テントを広げる為、テントを後ろの方へ引っ張ったところ、後ろにあった商品に気付かず、商品につまずき転倒し、左手を付き、左手首を負傷した。	61	2	417	10 ～ 29
20	2016	9	13～ 14	テントハウス倉庫において、水稻育苗培土用の空のフレコンバックの整理作業をしていたところ、整理前の積み重なっているフレコンバックに足をかけ上部から引っ張って取ろうとした際に、フレコンバックの紐に足を引っ掛けて転倒し、左手を床面についた時に負傷した。	66	2	611	30 ～ 49
21	2016	8	11～ 12	肥料を納品先の敷地内で、2tトラックから降ろす作業をした。降ろし終えて、トラックの荷台から飛び降りたとき、着地面がコンクリートと砂利の境目で、若干の段差があり、そこに右足を着いたため、くじき負傷した。	30	3	417	10 ～ 29
22	2016	7	11～ 12	クリーナー充填室内で不良品を解体しポリ袋に入れ替える作業中に、粉が舞い上がり目に粉が入った。	50	12	519	10 ～ 29
23	2016	7	11～ 12	肥料工場の計量槽の点検を行うために、2階フロアから中段ステージに降りようとして建物梁に右足を掛けたときに踏み外し、梁の隙間に足がはまり被災。	31	3	321	50 ～ 99
24	2016	6	16～ 17	造粒生産現場で、造粒製造作業終了時の掃除の際、誤って手をすべらせて、反対側にあるモーターのベルトに右手親指をはさみ被災した。	58	7	169	30 ～ 49
25	2016	4	13～ 14	工場2Fで配合作業中、1号機の500Lスーパーミキサーの上部の蓋を開けて掃除をした後、蓋を閉じようとして開閉レバーを（閉）の方向に回して、上部の蓋が本体に降りて来たとき、うっかりして左手中指を本体から離さなかったため、上部蓋とミキサー本体との間にはさまれて負傷した。	57	7	321	10 ～ 29
26	2016	3	9～ 10	池清掃作業中、底に生えている藻をブラシにより除去している際、足を滑らせて仰向けに転倒し背中を強打し、負傷した。	70	2	713	1～ 9

27	2016	3	11~ 12	フレコン包装作業の為にフォークリフトにて、作業場所にあるパレットを移動後、一度後方確認して後退していた時、シートをたたもうとしていた被災者の後方にフォークリフトの後部が接触。被災者は左足をつま先立ちしていたため、左足首より下の部分がフォークリフトの後部の底と床の部分に挟まりバランスを崩す形で前に転倒、その際足首を負傷した。	59	6	222	10 ~ 29
28	2016	2	7~8	作業終了時刻となり生産ラインを停止後、残存物の有無を確認するなどの見回り点検を行っていた。高さ700mmステージにて点検を行い、さる梯子をつたって降りようとしたところ、梯子を背にして降りた為、足を滑らせ受傷した。	43	1	371	—
29	2016	1	10~ 11	工場内でビニールの端を機械で切断するが、ビニールの端が機械の歯車のところに引っかかったので、簡単にとれると思い、機械を止めず動いている状態で指を入れたところ、はさまってしまった。	40	7	169	10 ~ 29
30	2016	1	8~9	工場内の振動節（ふるい）と冷却炉をつなぐ、連結した稼働中のコンベア重ね部に付着物があり、取り除こうとして、コンベアに右手が挟まり、右手親指から手首あたりを損傷した。	47	7	224	10 ~ 29
31	2016	1	10~ 11	工場敷地内にて、フォークリフトから降りようとしたところ、路面が凍結し、その上に若干雪が被さっていたために転倒。左足関節外果骨折した。	42	2	719	10 ~ 29
32	2015	12	9~ 10	構内で、40kgのPP袋入り原料504袋を海上コンテナからパレットに降ろす作業に就いていた。袋を左肩に乗せ、両手で抱えてパレットに1段5袋を5段積んでいく作業で、1段を積み終わり2段目を積む時、左足を1段目の手前の真中の袋の上に乗せ、右足をその右側の袋の上に乗せた時、袋の端に足に乗せたため右足が真中と右側の袋の間に滑り、体勢を崩した。その時、痛みが出た。	48	19	611	30 ~ 49

33	2015	12	15～ 16	スチール棚の上段に置いてある荷物（約7kg）を取ろうとして、2段の脚立（約高さ50cm）に上ったところ、荷物を持ったままバランスを崩し、脚立のステップの間に足が入り、足首を骨折してしまった。	48	19	371	10 ～ 29
34	2015	11	16～ 17	包装室で小袋包装機のカッター刃交換をするために小袋製造機からカッター部分を外し、刃を固定するネジを六角レンチで外し、新しい刃を取り付けて台の上でネジを付け、ネジをしっかりと締めるために左手でカッター部分を持ち、右手でネジを締めた勢いで手が滑り、左手に持っていたカッターが右手の指に当たり、刃で指を負傷した。	45	8	169	30 ～ 49
35	2015	10	10～ 11	工場で香料の配合作業中に、容量10kg入りポリ容器を持ち上げて、右に体を捻って別の配合容器に投入する際に、背中に痛みを感じた。	40	19	611	100 ～ 299
36	2015	10	8～9	操作盤から原料計量槽排出弁を開けて内部に入り、周囲にこびり付いている肥料を除去する作業をしていたところ、突然排出弁が閉じてきて、胸部を締め付けた。	22	7	169	30 ～ 49
37	2015	8	8～9	操作室天井上の堆積粉じんを清掃中、清掃場所の床の強度が低かったため、足で床を踏み挫いてしまった。左手で支えたときに左肩を脱臼、骨折する。	43	9	415	100 ～ 299
38	2015	7	14～ 15	アスファルト合材の品質管理のため、試験室でコンロを使ってアスファルト合材の配合、締め固め作業をしている時熱中症にかかった。	34	11	715	10 ～ 29
39	2015	6	14～ 15	フィルム製品を包装する作業場で反転器を用い横向きから縦向きに製品を動かした時、立てた製品が傾いたのでとっさに両手でささえようとしたが、重量物であったので製品と共に倒れ、右手が製品と搬送用フリーベアリング間にはさまれた。	62	7	611	100 ～ 299
				肥料工場内、磁選機において、磁選回収率調整作業中転炉スラグ粉碎の供給原料の荷姿調査で、原料の荷幅と厚みをコンベッ				100

40	2015	6	8～9	クスにて測定した際に、コンベックス先端が磁選機（ドラム式）に巻き込まれ手を切傷した。	32	7	224	～ 299
41	2015	5	16～ 17	工場の作業場出入口で仕事が終わって退出する時に、出入口の床に置かれていた鹿よけ網に気付かず、靴が引っかかり転倒した。	63	2	379	10 ～ 29
42	2015	5	10～ 11	事務所内のトイレから廊下に出たところ、トイレ内が清掃直後で水で濡れていた為に靴の裏が濡れ、その影響ですべて転倒。転倒した際に左手をついてしまい骨折。	53	2	417	50 ～ 99
43	2015	2	13～ 14	工場内において、被災者は液剤製造作業中、ボトルにラベルを貼る機械の製造ライン上で、絡まったラベルシートを取り除こうとした所、右手中指を機械に挟みこまれ負傷した。	45	7	169	30 ～ 49
44	2015	1	15～ 16	仮設工場内にて、動力自動製袋機の部品交換作業を二人でしている時、長さ150cmΦ5cm重さ20kgのステンレス製ロールバーのネジをはずした途端、一方をひとりが指示していたにもかかわらず、急な加重によって支えたままの右手を5cm下の鉄枠に当てた。	69	7	169	1～ 9
45	2014	12	9～ 10	2名で背中合わせにクレーンフォーク上に座り、左右の仕掛品の棚卸をしていた。別のロケーションに移動中（9段→10段）ロケーションに取り付けられている鉄枠に膝をぶつけその反動で右足首を捻った為に足首を骨折した。	44	6	211	500 ～ 999
46	2014	11	15～ 16	工場内の製品詰め場で製品を移動後にフォークリフトから床に降りた際、足が滑って左足首を捻り捻挫した。	38	3	222	50 ～ 99
47	2014	10	10～	数種類の樹脂等に熱を加え混錬した物をロールで再錬する工程で、ロールの回転を利用しながら樹脂を手で巻取り、ロール上部に送って練を利かせる作業をしている際、巻き取っていた樹脂が落ちそうになり誤ってそれを腕（肘）で受けてしまった。	18	11	529	10 ～

			11	その際に樹脂が腕を乗り越えてしまったため、ロールと樹脂に腕が固定されてしまいロールの回転で体を持っていかれ、ロールに体が乗った状態でロールや樹脂の熱によって火傷を負った。					29
48	2014	10	11～ 12	第3工場シャンプーラインでボトルのキャップを締める作業中右手首をひねった。	49	19	379		30 ～ 49
49	2014	10	10～ 11	食添充填室でTK-601よりカプロン酸の充填作業中、フレキシブルホースのカムロック部分から漏水があった為、交換しようとカムロックを緩めたところ残圧により液（カプロン酸）が噴出した。ヘルメットとヘルメットに付属の面体を装着していたが噴出した液が顔の一部と胸にかかり熱傷を負った。熱傷の程度は3段階のうち2番目だった。	43	12	519		1～ 9
50	2014	10	14～ 15	肥料製造工場にて造粒機械のチェーンコンベアの解体作業中に解体部品の落下防止措置をせず、落下した部品を手で受け止めて左手人差し指をケガしてしまった。	40	7	521		1～ 9
51	2014	9	11～ 12	事業所の畑において、収穫したごぼうを鉄の網パレット（横約170cm、縦約99cm、高さ約83cm、ごぼうが入っている重さ約400kg）に入れる作業中、同僚作業員がタイヤショベルでパレットを被災者の近くまで移動させて下ろした時、被災者の足があるが見えずパレット正面下部分が被災者の右足首（地下足袋）に当り負傷した。	67	6	141		10 ～ 29
52	2014	8	8～9	EPS成形工場内にて、成形機による製品生産作業中、搬送ベルトの修理の為、成形機の中に入ったが、運転停止及び型フレームの固定ピンの取り付けを怠っていた為、型フレームが閉じてきた。とっさに脱出して非常ボタンを押したが間に合わず、左腕をフレームに挟まれ左上腕部の火傷、及び左手首を骨折した。	35	7	169		30 ～ 49

53	2014	7	11~ 12	工場内のコンクリートの路面上で、足元が滑り、転んで右手腕を強打した。	41	2	417	10 ~ 29
54	2014	7	11~ 12	電源を切らないで搬送機用のドラム整列機のローラーを清掃していた際に、センサーがウエスに反応しドラムストッパーが作動したため、ローラーを掴んでいた左手薬指がローラーとストッパーの間に挟まれ、薬指先端部が切断された。	42	7	229	300 ~ 499
55	2014	6	10~ 11	オーデコロンの仕上げラインで加締機を使用した際、中身がはねて目に入った。	18	6	169	100 ~ 299
56	2014	6	17~ 18	計量器の停止とエアバルブを締めることを忘れて作業を開始してしまい、ボルト固定作業中にシリンダーが動き、シリンダーと固定用ステイの間に指を挟まれた。	22	7	169	10 ~ 29
57	2014	4	11~ 12	製造作業後、残った袋（備品）を元に戻す際、足元のバランスを崩し機械の裏にある滑車に手をつき挟まれた。	18	7	169	1~ 9
58	2014	1	11~ 12	取引先へ商談のため訪問した際、取引先の駐車場と玄関の間のスロープがアイスバーンのようになっており、下る際に足を滑らせて転倒し、体の左側を強打し肋骨を骨折した。	66	2	719	30 ~ 49
59	2013	12	8~9	プラスチック成形工場内にて、機械から金型を取り外した際、金型が不安定になり、機械と金型の間で薬指を負傷した。	25	7	169	10 ~ 29
60	2013	11	14~ 15	包装用紙袋を保管棚に戻した後、作業場に戻る際、通路のパレットに積んであった予備紙袋の荷崩れ防止用ラッピングの緩みに躓き、転倒。足首を捻り、足首を両果骨折した。	59	2	611	100 ~ 299
61	2013	11	11~ 12	化粧品製造ルームにて、クレンザーロールの成形作業中、原材料のクレンザーの固り(約1kg)をテーブルの上でローラーを用いてクレンザーを伸ばす作業をしていたところ、手親指付近を痛	48	19	364	300 ~ 499

				めた。				
62	2013	10	11～ 12	工場にて、床に躓き、転倒した。	60	2	519	30 ～ 49
63	2013	9	9～ 10	フォークリフトを停車させ、ツメに空のパレットを刺し、高い位置まで上げた際、棚と製品の間側にフォークリフトと対面するように梯子を掛け、上ったところ、フォークリフトに刺したパレットの刺し方が浅かった為、パレットが動き、反動で梯子が外れ、落下した。	50	1	371	30 ～ 49
64	2013	8	11～ 12	商品を配送中、対向車がセンターラインをオーバーし、衝突した。	56	17	231	50 ～ 99
65	2013	8	9～ 10	重量約40kgのキャスター付アトマイザーを移動させようと工場から出した際、バランスが崩れ、倒れ、鉄部が大腿に当たった。	38	4	359	300 ～ 499
66	2013	8	8～9	工場建物の隙間に鳥侵入防止ネットを張ろうパレットを高さ156cmに積み重ね、上に乗り、作業を始めようとしたところ、バランスを崩し、落下。付近のフォークリフトに後頭部を打った。	36	1	611	10 ～ 29
67	2013	7	13～ 14	廃油タンクに廃油を入れる作業中、廃油タンク内のヒーターをつけっぱなしにしていたため、タンク内の空気が膨張し、タンクのネジが飛び、ほぼ骨に当たり、骨折した。	34	4	319	1～ 9
68	2013	4	7～8	フレコンバック（直径1m）を覆っているシートがずれているのを見つけ、直そうと3段目まで下がった箇所で足を滑らせ、フレコンバックの紐を掴んだが掴みきれず、背中からコンクリートの床に落ち、頭部を負傷した。	24	1	611	10 ～ 29
				トラックの荷台に上がり、プラスチックのかごを取りやすい場				

69	2013	3	16～ 17	所に持って来て、トラックから降りるため、足をタイヤの上に 乗せ、降りようとしたところ、滑って転落し、体がねじれ、ひ ざに痛みを感じた。	55	1	221	1～ 9
70	2013	3	10～ 11	培養土袋詰めロボットの商品検査作業中、動いてきた袋詰めロ ボットのアーム部分と接触し、転倒。頭、肩、腰を打撲した。	61	3	169	10 ～ 29
71	2013	2	4～5	バックフィルターのロータリーバルブに詰まった粉（原料） を、機械の窓から中に手を入れて下に落としていた際、回転中 の羽に指が当たった。通常は棒状の器具で行っていたが、見当 たらなかったため、つい自分の手で行い、被災した。	25	7	169	10 ～ 29
72	2013	2	13～ 14	機械での作業中、手を袋を送るゴムローラー部分に挟まれた。	37	7	163	10 ～ 29
73	2013	1	14～ 15	エレベーター地下ピットにて、バケツ内の熔接カスの除去作業 中、バケツを回転させるため手で両脇のチェーンを掴み、引き 下げたところ、引き過ぎ、チェーンとテールホイルの間に小指 を挟んだ。	59	7	224	30 ～ 49
74	2012	12	9～ 10	牛舎敷地内にて、コンテナ車を降りようとした際、地上のつた 状の植物に足をとられ転倒し、地面に手をつき負傷した。	61	2	417	1～ 9
75	2012	9	7～8	原料搬送コンベアから混合ミキサー投入部への乗継箇所の付着 原料の除去作業中、コンベアトップローラー及びスナップロー ラー部に手を巻き込まれ、負傷した。	21	7	224	50 ～ 99
76	2012	7	16～ 17	草刈作業中、傾斜地で滑り、U字構に体を打ち、肋骨と腰椎横 突起を骨折した。	65	1	419	10 ～ 29
77	2012	6	8～9	工場出入口付近にて、積込み作業を行う為、バキュームダンプ を降りたところ、足元の鉄板の上で滑って転倒し、足首を痛め	36	2	221	1～ 9

				た（早朝まで雨が降り、鉄板の上が滑り易い状態であった）。				
78	2012	2	13～ 14	当事業所工場内において、包装した製品のシールチェックをしていたところ、シールを貼る機械にゴミがつまったため、取り除こうとした。その際、機械を停止しないまま取り除こうとしたため、機械に人差し指が挟まり負傷した。	18	7	129	10 ～ 29
79	2011	12	14～ 15	作業内にて4kgぐらいの箱を持ち上げ積み重ねる作業をしていた際、周りに障害になるようなものはなかったが、持ち上げたときバランスを崩し尻から転倒し、負傷した。	51	2	611	1～ 9
80	2011	11	8～9	取り引き先工場において、30kg程の荷物の入ったカゴを運んでいる最中、腰を痛めた。	40	19	921	50 ～ 99
81	2011	10	16～ 17	製品Eの結晶取り出しのための遠心分離操作中に静電気による着火が発生した。その熱風によって遠心機下でドラム内の結晶を確認していた作業者が顔、両腕及び膝上上脚前部に火傷を負って入院した。	44	11	161	50 ～ 99
82	2011	9	16～ 17	充填室において、ステンレスドラム缶をパワーリフターで運んでいた際、バランスを崩し倒れてくる容器を抑えようとしたが抑えきれず、容器にある取手が右足に挟まり怪我をした。その後病院に行き、骨折と診断された。	44	7	391	100 ～ 299
83	2011	9	16～ 17	製造ラインの製品取り出しサイロにおいて、点検終了後にハシゴから降りようとした際、手を滑らせ、約3m上から地面に落下し骨折した。	36	1	371	30 ～ 49
84	2011	8	18～ 19	3号系カーボン袋詰め作業で、作業場に徒歩で入場した際、左足首をひねり捻挫した。その際、痛みで体のバランスを崩し、転倒した。倒れた際に左肘を地面に強く打ち付け、被災した。	33	2	417	30 ～ 49
85	2011	8	16～ 17	製品の野積したものを出荷の為、雨よけシートをめくり製品を取り出し、雨よけシートを戻す作業をしていたところ、 balan	46	1	611	1～ 9

				スをくずし落下した。				
86	2011	7	13～ 14	当社A工場にて、ビニールパイプに切込を入れる作業中、切込機の作業台のゴミを取り除こうと手を出した際、切込機の回転刃に左手が触れ、環指、小指を切傷した。	57	8	169	1～ 9
87	2011	7	14～ 15	第一工場において、エアセルマット製品をカットする加工作業中、送り出された製品を手でおさえようとした際、誤って作業刃に左手薬指が接触、出血受傷した。	65	8	169	10 ～ 29
88	2011	6	11～ 12	肥料リサイクルセンターにおいて、上司の命令でショベルローダーのラジエーターの水が減っていたので補充をしようとフタを開けたところ、熱いラジエーター水が噴き出し、顔とその周りにかかって火傷を負った。	41	11	141	10 ～ 29
89	2011	6	12～ 13	ホルダーにチューブを差し込む作業中、チューブをおさえる折り器の口先が汚れたためブラシを使わず、タオルでふいたとき、親指をはさみ負傷した。	55	7	169	1～ 9
90	2011	5	20～ 21	肥料製造設備の原料供給槽入口配管が閉塞した為、配管内を確認しようとフランジを開放した。その際配管内に残っていた原液がフランジから噴出し、驚いて高さ1.5mの作業床から飛び降り、右足踵を負傷した。	45	1	416	30 ～ 49
91	2011	5	9～ 10	テント倉庫A棟で20フィートコンテナの荷物を降ろす為サイドに足場用とし簡易的にパレットを8～9枚重ねて、1.3m位の高さにし、各パレットに乗って中央部のパレットに肥料を重ね積み込み作業をしている際、足を踏みはずし転倒。足の踵を骨折した。	23	1	416	30 ～ 49
92	2011	4	21～ 22	当社東京工場内にて梱包された樹脂原料を開梱作業中、樹脂原料に段ボールを巻いた上にラップで梱包してあったのでカッターナイフにて開梱していた際、段ボールが硬く力を入れた際誤って自分の左手人差し指と親指の間を切って負傷した。今後の対策として仕入先に段ボールを抜いて梱包するよう依頼し	43	8	364	10 ～ 29

				た。				
93	2011	4	11～ 12	工場内押出機スクリュー（約200kg）を冷却用水槽の上に載せ2名にて清掃作業中、スクリューの反転の為に反対側の端にて作業していた作業者の合図により回転させたところ、バランスが崩れ、スクリューが足もとに落下し、受傷した。	55	4	521	1～ 9
94	2011	4	16～ 17	製品倉庫1階において、1人で製品の配送準備中、ドラム缶（200kg）がパレットに4本ずつ載せられて、2段積みされた上段のパレットのドラム缶1本が少しはみ出していた為、手でパレット内に収めようとして、隣の1段積みのドラム缶の上に乗る、そのドラム缶を手前に傾けたところ傾け過ぎ、倒れてきて支えきれず右足下部に当たり骨折した。	57	5	611	50 ～ 99
95	2011	3	11～ 12	組立てた段ボール箱を、箱詰作業所に運び込んで、組立てに戻ろうとした途端、バックしてきたフォークリフトの右側後輪に左足を挟まれたまま転倒し、骨折した。	49	6	222	1～ 9
96	2011	3	8～9	労働者Aさんがボブキャットのエンジンを止め、バケット部分を上昇させてその下に鉄骨の支えを置いた状態で整備していた。その際ボブキャットのリフト部分の下に前方から潜り込んだ際、手が滑って運転席の足元部分のリフト昇降ペダルを手で押し下げてしまった為、リフト部分が自重で下がり始め支柱だった鉄骨の支えを倒し労働者の腹部とつま先を挟み込んだために負傷した。	30	6	225	1～ 9
97	2011	2	13～ 14	作業場内使用フォークリフトを止めておく際、安全確認を怠りサイドブレーキ掛け忘れにより無人のまま崖下に落下した。フォークリフト引上げ作業中準備した脚立を使わず自ら崖下にとび降りた為、両足を負傷した。	52	3	418	1～ 9
98	2011	2	11～ 12	粉碎機周辺を清掃中、手すり階段を降りる途中、踏み外したため、右足膝下部分を強打して打撲した。	54	19	371	10 ～ 29

99	2011	2	9~ 10	被災者は、工場内荷捌き所にて、トラックの荷台で、2段に積まれたトランスバックスの荷降ろし作業を行っていた。1段目のトランスバックスの上より降りる際に、上体のバランスを崩し、トラックの荷台へ落下後、その勢いでさらに地面に落下し頭部を地面に打ち付けた。	34	1	221	50 ~ 99
100	2011	2	5~6	フレームラミネート工程で通常生産作業をしている際、表皮の折れシワを直そうとしゃがんで左手でエリアセンサー解除釦を押し、右手でしわを修正した。修正が完了したため、立ち上がろうとし、体のバランスを崩しローラー側へ倒れかけた際、解除釦から手を離し、非常停止でラインは停止したが惰性で回転しているローラーへ右手先端を巻き込め、同時にバーナー本体が反転し右上腕熱傷、右尺骨骨折、右示指、中指、環指末節骨骨折をした。	28	7	163	300 ~ 499

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。